

科目名	近世文学講読Ⅰ	
担当者	清水 勝 / SHIMIZU, Masaru	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	松尾芭蕉の紀行文「おくのほそ道」のうち、版本の素龍本を読解して、俳文の奥深さに触れ、古典が面白くなります。
	到達目標	1、俳諧が俳句とは異なることを理解する。2、各編を読んで、内容に加えて、次第に構成にも気づくようになる。3、作品中の和歌・漢詩・発句・謁との関わりから、広く国文学と国語に関心をもつようになる。
授業計画	(1) 俳諧文芸と近世 (2) 芭蕉と俳諧とのかかわり。諸本の対比。 (3) 近世と紀行文、芭蕉の紀行文と「おくのほそ道」。 (4) 序文 (5) 深川、千住、草加、室の八島、日光山の禁 (6) 日光、那須、黒羽、雲岸寺、殺生石 (7) 芦野、白川の関、須賀川、軒の栗、あさか山 (8) 忍ぶのさと、丸山、飯塚、笠島、武隈の松 (9) 仙台、壺の碑、塩がまの浦、塩がまの明神、松島（一） (10) 松島（二）、瑞岩寺、石の巻、平泉、尿前の関 (11) 尾花沢、立石寺、最上川、出羽三山、酒田 (12) 象潟、越後路、市振、那古の浦、金沢 (13) 小松、那谷寺、山中、全昌寺、汐越の松 (14) 福井、つるがの津、種の浜、大垣、跋文 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・復習をしっかりとすること。
使用教材・参考文献	【教】「おくのほそ道」鈴木知太郎・伊坂祐次 共著。笠間書院平成16年発行（ISBN4-305-00117-9）。以下、参考書は大学図書館にあり。 【参】小学館古典全集本「松尾芭蕉全集」・岩波古典大系本「松雄芭蕉全集」	
成績評価方法と基準	<方法>出席10回以上とし(30)、各回レポート形式の小テストを行い(20)、試験も行う(50)。 <基準>平均して60点以上を合格とする。	
備考		